

+ 輸血情報

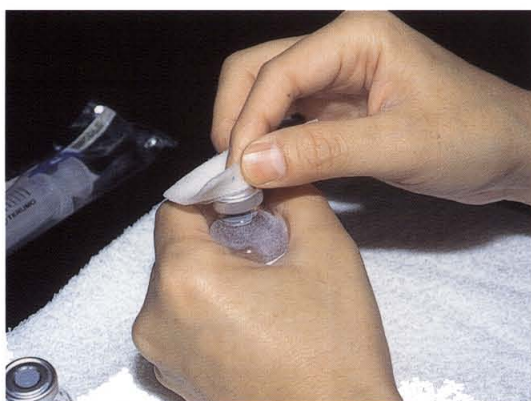
【クロスエイトM溶解時の異物混入を防ぐには】

クロスエイトMの溶解時に異物が入るのを防ぐため、次の点にご注意下さい。

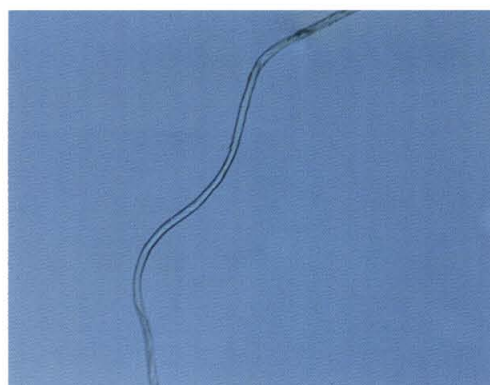
1. ゴム栓をアルコール綿(スワバー)で消毒するとき

アルミキャップとゴム栓の間にアルコール綿の繊維を残さないようにご注意ください。

針を刺すとき残っている繊維が入ってしまうことがあります。



異物



拡大写真(45倍)

2. ゴム栓に針を刺すとき

ゴム栓の丸印の内側中心部にまっすぐ奥まで刺して下さい。

溶解時に針(金属針、プラスチック針)をゴム栓の端に刺したり、ななめに刺すと無理な力がかかり、ゴム栓が落ちたり、針でゴム栓を切り取って製剤中にゴム栓の破片が入ってしまう(コアリングがおこる)ことがあります。

またプラスチック針を使用する場合(裏面)、アルミキャップに触れてプラスチックが削られ、製剤中に入ってしまうことがあります。

金属針を使用する場合



異物



ゴム片

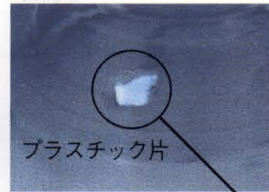


拡大写真(45倍)

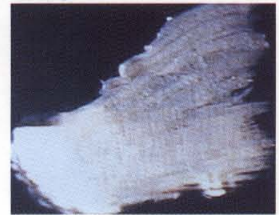
プラスチック針を使用する場合



異物



プラスチック片



拡大写真（50倍）

3. 注射器に製剤液を抜き取るとき

必ずフィルトランあるいはフィルター針を使用して下さい。



溶解液や製剤中に異物の混入があったときは使用せずに、最寄りの血液センターまでご連絡下さい。

製剤、輸注セット、箱なども保存しておいて下さい。

日本赤十字社中央血液センター 医薬情報部

〒150 東京都渋谷区広尾 4-1-31
TEL:03-5485-6607 FAX:03-5485-7620

■お問い合わせ